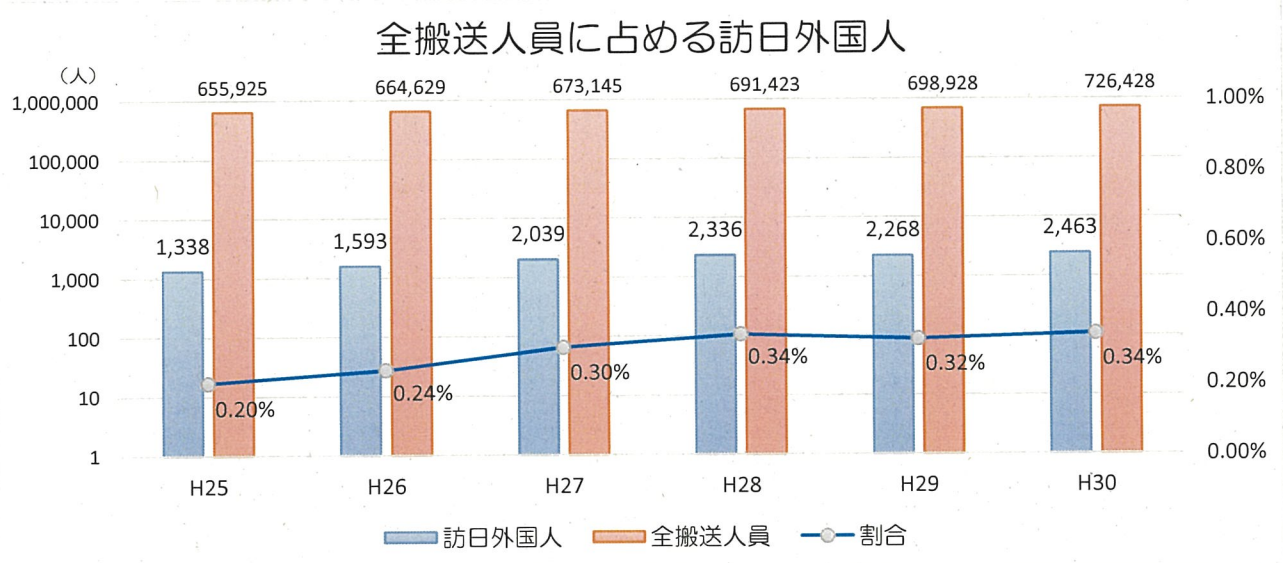


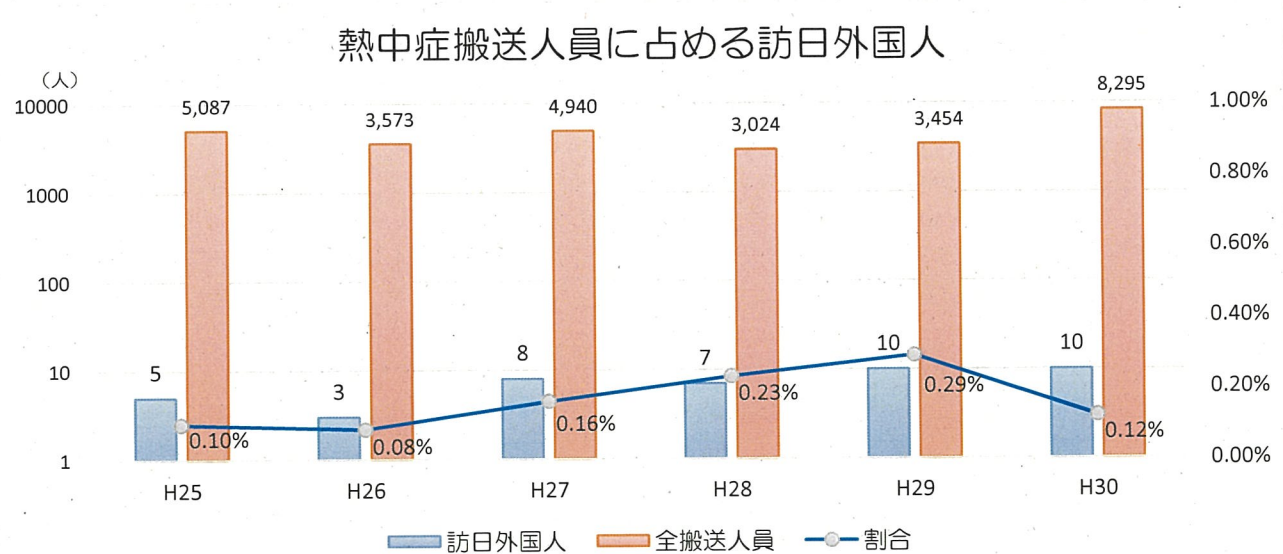
外国人救急搬送データ及び体制整備

○ 外国人救急搬送人員の推移

(表1)



(表2)



※ 本データにおける訪日外国人とは、東京消防庁の救急搬送記録の中で、「外国籍」かつ「住所区分（外国人旅行・滞在者、住所不定者、住所不明者）」を抽出したもの。

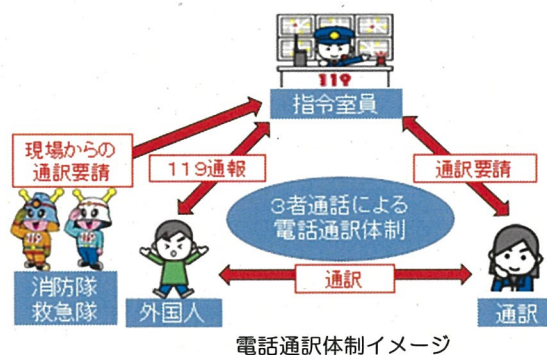
※ 上記(表2)中、H30 訪日外国人の搬送人員を「61人」⇒「10人」に訂正した(7月19日)。

○ 外国人からの119番通報等への対応

- ・ 東京 2020 大会を見据え、増加する訪日・訪都外国人からの119

番通報時等の対応を万全なものとするため、総合指令室における英語対応者の配置に加え、電話通訳の業務委託を実施し、大会開催時における多言語対応体制の整備を推進

- ・ 対応言語は英語、中国語、韓国語、ポルトガル語及びスペイン語
- ・ 平成29年7月1日から運用開始
- ・ 運用実績は420件（平成30年中）



○ 救急現場における外国人傷病者対応

- ・ 東京 2020 大会の開催などを見据え、増加が予測される都内の外国人が、安心して滞在できる環境を整備するため、平成26年4月から英会話能力を備えた救急隊員が乗務する救急隊を整備（平成31年4月現在 14署36隊）
- ・ 平成30年10月から、多言語音声翻訳ツール「救急ボイストラ」をインストールした携帯端末を一部の救急隊に配置

